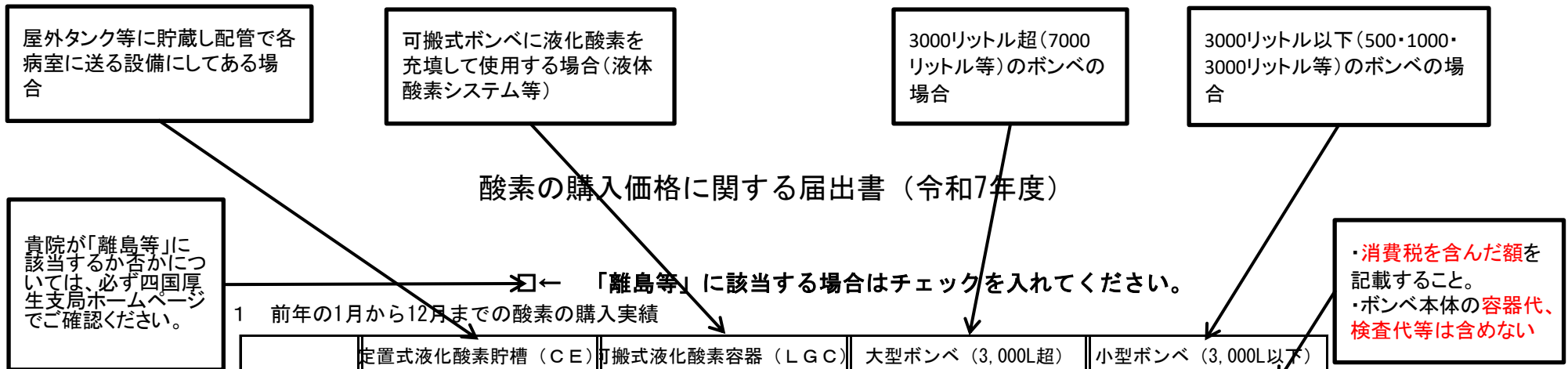


記載例及び記載上の注意点



1 前年の1月から12月までの酸素の購入実績

購入年月	定置式液化酸素貯槽（CE）		可搬式液化酸素容器（LGC）		大型ポンペ（3,000L超）		小型ポンペ（3,000L以下）	
	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）
令和6年1月			1,000,000	308,571			500	1,188
令和6年2月			2,000,000	606,857			1,500	3,564
令和6年3月			3,000,000	905,143			0	0
令和6年4月			1,500,000	451,000			500	1,188
令和6年5月			0	0			0	0
令和6年6月			0	0			0	0
令和6年7月			0	0			0	0
令和6年8月			0	0			0	0
令和6年9月			1,000,000	308,000			500	1,188
令和6年10月			1,000,000	308,000			0	0
令和6年11月			0	0			0	0
令和6年12月			0	0			1,500	3,564
計			9,500,000	2,887,571			4,500	10,692
単価				0.30				2.36

貴院が「離島等」に該当するか否かについては、必ず四国厚生支局ホームページでご確認ください。

リットルに換算のうえ記載すること。

【重要】単価の計算方法
購入対価 ÷ 購入容積
(小数点第3位を四捨五入)

・消費税を含んだ額を記載すること。
・ポンペ本体の容器代、検査代等は含めない

【重要】単価の上限
10,692 ÷ 4,500 = 2.376
単価の上限が2.36なので、上限単価を記載を記載すること。
(過疎・離島地域の場合は、単価の上限が3.15円なので、2.38をそのまま記載すること。)

令和6年中に購入実績がない区分の酸素であって、使用する予定があるものについては、「2」に記載すること。
※直近の購入年月についてのみ記載してください。

【重要】令和元年9月30日までに購入した酸素の購入対価について
実際に購入した価格に108分の110を乗じて得た額(1円未満は端数を四捨五入)を購入対価として記載すること。
(例) 令和元年8月に大型ポンペを2,400円(税込)で購入した場合
→ 2,400円 × 110 / 108 = 2,444円(1円未満の端数を四捨五入)

2 前年1年間において酸素の購入実績がない場合（当該診療月前の酸素の購入実績）

購入年月	定置式液化酸素貯槽（CE）		可搬式液化酸素容器（LGC）		大型ポンペ（3,000L超）		小型ポンペ（3,000L以下）	
	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）	購入容積（ℓ）	購入対価（円）
令和元年8月					7,000	2,444		
単価						0.35		

購入年月については、忘れずに記載すること。

1～4のうち、該当する番号を○で囲むこと。

3 その他

購入業者名	種類（液化酸素、ポンペ）			
○○酸素	1. 液化酸素（CE）	2. 液化酸素（LGC）	3. ○ ポンペ（大型）	4. ポンペ（小型）
△△酸素	1. 液化酸素（CE）	2. ○ 液化酸素（LGC）	3. ポンペ（大型）	4. ポンペ（小型）
	1. 液化酸素（CE）	2. 液化酸素（LGC）	3. ポンペ（大型）	4. ポンペ（小型）

上記のとおり届出します。
令和 7 年 ● 月 ● 日

医療機関コード 1 2 - 3 4 5 6 - 7

所在地 ○○県○○市○○町○-○

保険医療機関名称 □□医院

開設者 厚生 太郎

担当者 医事課 四国 二郎

電話 087-123-4567

四国厚生支局 殿

【記載上の注意事項】

- 届出は、当該前年の1月1日から12月31日までの間に購入したすべての酸素について記載すること。
- 対価は、実際に購入した価格（消費税を含む。）を記載すること。
なお、平成30年1月1日から令和元年9月30日までの間に医療機関が購入したものについては、当該対価に108分の110を乗じて得た額の1円未満の端数を四捨五入した額とする。